



平和新聞 東京版

2024年12月5日 東京版第140号
1950年12月16日 第三種郵便物認可（日本平和委員会）
東京版発行 東京平和委員会
〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館5階
電話03-5927-1485 Fax03-5927-1487
E-mail tokyoheiwaiinkai@peace-21.jp

オスプレイ反対東京大集会 11月24日 六〇〇〇人参加



オスプレイ反対東京連絡会は11月24日（日）、福生市・多摩川中央公園で「横田基地にオスプレイはいらない11・24東京大集会」を開催し、600人が参加しました。

集会の前段で東京高校生平和ゼミナールの仲間がスピーチ。「核兵器禁止条約の批准を求める署名に、全校の4分の1以上が署名してくれた。声を上げれば賛同してくれる人はいる。自

分から行動を起そうと思っただけ」と語りました。13時半からの本集会で、開会あいさつをした東京地評・矢吹義則議長は、「いつ落ちるかかわらないオスプレイは東京にも日本にも数割れに追い込まれている状況で、私たちの願いを国会に届ける運動を広げていこう」と訴えました。政党からは、日本共産党・古良よし子参議院議員、社会民主党東京都連合・伊地知恭子幹事長（多摩市議）が連帯あいさつをしました。立憲民主党東京都連・手塚仁雄幹事長、れいわ新選組・くしぶち万里衆議院議員からメッセージが寄せられました。

分から行動を起そうと思っただけ」と語りました。13時半からの本集会で、開会あいさつをした東京地評・矢吹義則議長は、「いつ落ちるかかわらないオスプレイは東京にも日本にも数割れに追い込まれている状況で、私たちの願いを国会に届ける運動を広げていこう」と訴えました。

政党からは、日本共産党・古良よし子参議院議員、社会民主党東京都連合・伊地知恭子幹事長（多摩市議）が連帯あいさつをしました。立憲民主党東京都連・手塚仁雄幹事長、れいわ新選組・くしぶち万里衆議院議員からメッセージが寄せられました。

日本平和大会実行委員会の千坂純事務局長は「『飛行中止・撤去せよ』の声を立場の違いを超えて上げていこう」と訴えた他、安保破棄千葉県実行委員会・紙谷敏弘事務局長、神奈川平和委員会・佐野昭広常任理事、健生会・蓮池安彦理事

が、それぞれ、全国・各県におけるオスプレイ配備反対や基地撤去、PFAS汚染除去の取り組みについて発言しました。東京土建・石村英明副委員長は、過去の戦争で多くの建設労働者が前線に送られたことに触れながら、「二度と戦争のための工事をしない」と決意を述べました。

が、それぞれ、全国・各県におけるオスプレイ配備反対や基地撤去、PFAS汚染除去の取り組みについて発言しました。東京土建・石村英明副委員長は、過去の戦争で多くの建設労働者が前線に送られたことに触れながら、「二度と戦争のための工事をしない」と決意を述べました。

オスプレイ反対東京連絡会・岸本正人事務局長が集会アピールと行動提起を提案し、拍手で採択された後、東京地評青年協・杵島歩常任幹事が、シユプレヒコールをしました。会場には、大田、中央区、目黒、ひの、立川（確認で

オスプレイ反対東京連絡会・岸本正人事務局長が集会アピールと行動提起を提案し、拍手で採択された後、東京地評青年協・杵島歩常任幹事が、シユプレヒコールをしました。

きた範囲）の各平和委員会が参加しました。集会後、参加者は横田基地（解散地はフレンドシップパーク）に向けてアビー

ル行進し、「欠陥機オスプレイはいらない」「横田基地はいらない」と声を上げました。2025年平和大会は10月25〜26日、愛知（名古屋）での開催と発表されました。

2025年平和大会は10月25〜26日、愛知（名古屋）での開催と発表されました。

法を活かし国づくりへの転換の可能性をはらんで展開しており、軍事同盟によらない平和の枠組みの実現目指し、草の根の運動で情勢を切り開いていくことを確認し合いました。各地の運動のレポートでは、横田基地の現状の報告を岸本事務局長が行いました。



大田平和委員会のみなさん

大田平和委員会のみなさん

大田平和委員会のみなさん

在日米軍司令部移転問題 防衛省ヒアリングレポート

11月21日、在日米軍司令部が、横田基地から港区六本木にある「赤坂プレスセンター」への移転を計画している、米軍の準機関紙「星条旗新聞」が報道しました。

この報道を受け、日本共産党の山添拓参院議員が防衛省に対してヒアリングを行いました。ヒアリングには山添議員のほか、尾崎あや子都議会議員はじめ、麻布米軍ヘリ基地撤去実行委員会のメンバーなどが参加しました。

今年7月に行われた日米安全保障協議委員会（2+2）において米側は、在日米軍司令部を戦指揮権限を持つ「統合軍司令部」に再編し、自衛隊との連携を強化すると発表しています。市ヶ谷（防衛省）に新設される陸海空三自衛隊の「統合戦司令部（JJOCC）」にも近い赤坂が選ばれていると報じられています。

赤坂プレスセンターには、ヘリポートが併設されていて、都心部における米軍ヘリによる航空法を無視した低空飛行、離発着による騒音や事故の危険などによっ

て、住民へ大きな被害が生じていることから、東京都や港区長・区議会議長は全面返還を繰り返し要望しています。今回の報道が現実のものとなるのであれば、全面返還を求めている地元

の願いを踏みにじるものであり、断固として許されるものではありません。

司令部が東京都心に移転されることとなれば、有事には標的にされる危険性もあります。

こうした我々の不安や懸念に対し、防衛省の担当官は「報道があったことは（日米ともに）認識を共通にしている」「現時点で決まっているものではない」「相手側（米軍）の関係もあるので詳細な回答は差し控えていただく」といった不誠実な対応に終始し、山添議員から「地元からの要望は米側に伝えているのか」という質問には、明確な返答を避けました。いま、地元が求めているのは麻布ヘリポートを含む全面返還であり、機能強化・増強を望んでいません。司令部移転の動きに断固反対するとともに、全面返還を求める

運動をより一層広げていきましょう。（東京平和委員会 檜山優介）

うるま、辺野古連帯行動に参加して

11月1日〜3日、安保破棄中央実行委員会主催の沖縄行動に参加しました。

1日目は、沖縄県統一連帯事務局・瀬長和男さんによる辺野古新基地工事の現状について学習・交流しました。

大浦湾の軟弱地盤工事は海洋生物保護の観点から県外からの土砂搬入はできない状況で工事ができないようです。それとは別にK9護岸の先のA護岸の造成のため杭打ちが行われています。燃料を運ぶタンカーや強襲揚陸艦が接岸できる桟橋を造るため杭が20本すでに打たれているということでした。また弾薬搭載エリアのK5・6護岸の工事も行われています。

2日目は辺野古県民集会がキャンプシュアブゲート前で行われ750人が参加しました。その後、10人乗りの車で瀬長さんの案内で勝連にあるホワイトビーチが見える公園に行きました。栈橋には海上自衛隊艦船とカナダの艦船が停泊してい

ました。嘉手納「道の駅」からはC130J特殊作戦機4機の飛行が見られました。

3日、読谷村のトリイ通信施設、ここは西太平洋地域における戦略通信網の最重要施設です。また、沖縄戦で米軍が上陸した一地点だそう。次は読谷補助飛行場跡の道路を進みチビチリガマへ行きました。読谷村役場では9条の碑があり見学しました。車上から砂辺にある米軍人の基地外住宅群を見学しましたが、以前見たときよりはるかに多くなっていました。普天間基地ではオスプレイ・CH47が駐機していました。その後は嘉数高台から普天間基地を展望しました。

めぐろ平和委員会 荻野孝一

「母と子でみるアウシュビッツ」(草土文化、1983年)―これは私が小学生の時に学校の図書室で読んだ早乙女勝元さんの旅行記です。これを読んだ私は、いつかこの場所に行ってみたい、いや行くべきなのではないかと思いつけ早幾年：何度か渡航の機会はあった

ものの断念を繰り返し三度目の正直、今年の8月にやっと念願叶いました。当時ナチスドイツは、この強制収容所で主にユダヤ人を収容して虐殺しました(ソ連軍捕虜やポーランド人政治犯、遊牧民なども収容)、この計画の前にドイツ本国で多くの障害者を虐殺したことも忘れてはなりません。優生思想と差別、この意識の元にこれらの悲劇が起こりました。

この施設に入ると広い敷地に数々の煉瓦作りのバラックが立ち並び、当時のまま全て生々しく残っています。強制的に連れて来られた方々の靴や鞆、眼鏡や義足、無理やり剃られた髪の毛の山、脱がされた服：これらを所持していた方々は殆ど殺されたでしょう。銃殺される為に立たされた壁(死の壁)や、見せしめの為の首吊り台、そしてガス室、焼却炉：全ての雰囲気気が恐ろしく、写真や映画では伝わらな

響子の旅日記

は、百聞

は一見に如かずとは、まさにこの事。ここでは書ききれないことばかり、しかも書いていてとても辛い。

私たちはここから何を学ぶのか、それがとても大事だと思えます。世界中から沢山の人が来ていました。その皆と手を繋いで、もう二度とこのような悲劇は繰り返してはいけないよね、戦争は嫌だよねと感じ合えたら、真の平和が訪れるのではないかと思えました。

戦後80年を前に、私は大事な事を学ぶことができ、心から感謝しています。ここでは字数制限があるので多くは書けませんが、折々にお伝えし皆さま共に考えることをこれからも続けていきたいです。読んでくださりありがとうございます！

次回ハポーランド番外編です。お楽しみに！

次回ハポーランド番外編です。お楽しみに！

次回ハポーランド番外編です。お楽しみに！

